

【樹木・草花の部屋】

ベゴニア（シュウカイドウ科シュウカイドウ属 Begonia）

和名；ベゴニア **別名**； **英名**；
スマレ目 常緑多年草

原産地；

花言葉；永遠の栄え、愛の告白、片思い

花の色；



← **写真-1** ベゴニア

撮影日：2011年5月12日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

ベゴニアは寒さに弱いようです。我が家では秋の終わりころから屋内に入れて管理しています。全く、屋外では育たないわけでもないようですが・・・。一冬、屋外(軒下)に置いたところ、枯死までにはいたりませんでした。が惨め

な姿に・・・。やはり、冬場は暖かい場所がよさそうです。



← **写真-2** ベゴニア

撮影日：2002年10月20日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

写真-3 ベゴニアの鉢植 →

撮影日：2002年10月20日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん



【樹木・草花の部屋】

写真-4 ベゴニア ⇒
撮影日：2004年6月26日
撮影場所：奈良県大和郡山市
M邸にて
撮影者：Mさん



←写真-5 ベゴニア
撮影日：2004年6月26日
撮影場所：奈良県大和郡山市
M邸にて
撮影者：Mさん

<ちょっと一言>

木立ち性ベゴニア(学名：Ersect Stemed Begonia)

節があり、直立性の茎を持つグループ^oのベゴニアが木立ち性ベゴニア。スッと伸びた茎とシャンデリアのように咲き誇る花が特徴のベゴニアです。木立ち性種といっても、茎の内部が木質化することはなく年々肥大化し太くなっていくこともないのが特徴。花壇に植えられ、小さな花を多数つける叢生型ですが、四季咲として別扱いのセンパフローレンスが代表。日本でごく一般的に公園や学校に植えられている小さいベゴニアは、四季咲きベゴニアとも呼ばれているセンパフローレンスがほとんどのようです。

木立ち性ベゴニアはその姿によって「矢竹型」、「叢生型」、「多肉茎型」、「つる性型」、「センパフローレンス」の5つに分類。「センパフローレンス」は「叢生型」の仲間ですが、四季咲として別扱いのようです。

園芸界ではベゴニアを「木立ち性ベゴニア」、「根茎性ベゴニア(ベゴニア・レックスに他種を交配して作出された品種)」、「球根性ベゴニア」に分類されているようです。が、日本ベゴニア協会編の「ベゴニア百科」によれば8種類に分類して紹介されています。